



表彰状を受け取る水野氏（右側） / 5 ページ関連記事

ROBA デジケンのコラボ作品

「電車大好き」

第五回福井ふるさとCM大賞コンクール

## 努力賞

### 活動報告

2月17日 福井鉄道との懇談会  
2月25日 LRT意見交換会  
3月3日～4日 全国バスマップサミット（仙台）  
3月6日 LRT研究会（IRE）  
3月8日 第1回自転車部会  
3月9日 福井ふるさとCM大賞の表彰式  
3月11日 暮らしと環境を考えるセミナー（福大）  
3月11日 まちづくりフォーラム  
3月11日 臨時理事会

3月15日 福井市民活動助成金説明会  
3月16日 自転車マアアップキャンペーン・福井駅  
3月16日 例会・理事会

### 今後の予定

3月18日 自転車マアアップキャンペーン・鯖江  
3月18日 田原町デザイン会議（フェニックスP）  
3月19日 第2回自転車部会  
3月20日 LRT研究会（IRE）  
4月20日 例会・理事会

## ゆうじんの部屋 書籍紹介

「99.9%は仮説 思い込みで判断しないための考え方」

竹内薫 光文社 700円+税

ISBN4-334-03341-5 C0204

久しぶりにまちづくり交通以外の本です。バカの壁という本もありましたが、世の中の定説を疑い、柔軟な思考をすすめる本です。理系の大学を出た人には「当たり前のことが書いてある」と思われるかもしれませんが、真理がわからず苦悶した学生時代を思い出すのもよし、様々な科学にまつわるうんちくを仕入れるのにも向いています。

もちろん文系の方にも楽しく、わかりやすく書いてあるので、楽しく読むことができます。交通問題を検討するときも、多くの方は、義務的なことに費やす時間が減って、好きなことができる時間が増えることが幸せであるという仮定を疑うことなく議論するが、これも証明されていないような気がして不安になってきます。

美濃部 雄人 Minobe Yujin

## 福井鉄道 今枝常務との懇談会をもちました。 高橋（八）記

平成 19 年 2 月 17 日(土)の午後 6 時～午後 9 時過ぎまで福井鉄道 本社 会議室で福井鉄道今枝常務を囲み、内田会長以下 5 名の ROBA メンバーが参加しました。

駅美化運動から見えてきた、課題について真摯に各問題点について協議がされた。

神明駅では、ゴミ箱について設置すべきかどうかの意見交換がされたが、特に結論は出なかった。ただ、現実には職員の方がきちんとゴミ処理をしていることが確認された。

また、どの駅にも言えることですが、掲示板での掲示物の貼り方が「雑」なため見てくれないのでは？提案として共通の大きさ、内容をフォーマット化してはどうかとの意見も出された。更に話は続いて、コミバスが駅広にきているが改札から少し離れたところが乗降場なので、駅の下屋に移動することを鯖江市に確認することが確認された。待合室の壁に貼ってある古い看板を何とかしては？との意見に今、契約切れのものがあるかどうか、確認中とのこと。

田原町駅では駅の看板がない(見えない)ことを話すと、常務も困った顔をされて、その通りで何とかしたいのですが、と恐縮しきりでした。確かに、田原町駅の正面どこはどこ？と言われて、「ハイここです。」と言える人はいるか？ 誰かいませんか？

また、フェニックスプラザから駅に行くとき、線路を渡るが、バリアフリーになっていないのでは？との質問に常務は「丁度、ポイント切り替えの場所になっているため、隙間ができるのでここでのバリアフリー化はできない」との明快な回答とともに、もっとコンビ二側につくれるのではないかと提案が出された。

家久駅では、踏切のところの足元が暗いので街灯をつけて欲しいとの要望に対しては、善処するとの回答を得ることができました。河川改修に併せて、駅舎の一部を整備する計画があることも報告された。また、今の便所は暗くて汚くて危険なので、使用していない事務所を改造して待合室側から入れないものか？との提案が出ました。

その他、駅名の変更の話題になり「裁判所前」は「仁愛高校前」、「福井新」は「日赤病院前」という風に変更してはどうかとのアイデアに「仁愛高校前」はその可能性があることが示唆された。

将来展望ということで、神明駅はストラスブール市の事例を紹介し乗換え抵抗を少なくするような改造をお願いしたい、また、越前市側で P&R の駅を設置してはどうか？など将来の LRT 構想に即した要望も出された。

また、全国路面電車サミットの開催時期を 1 年前倒してやれないものか？との要請に「福井市」の動向次第となるが、福井市が OK との意向があれば是非やりたいとの確認がとれた。

福井ふるさと CM 大賞を武生新駅において、駅員の協力により無事撮影ができたことの御礼と応募した作品の DVD を水野会員より常務に手渡すことができた。

今回のように、鉄道事業者との友好的な懇談は今後とも随時継続をして、NPO でできることと、事業者でできることを立て分けて、愛される福井鉄道の構築をする必要があることを感じた。そのひとつが林照さんが提案していた「福鉄サポーターズクラブ」の立ち上げかなと個人的には感じて、早々に帰りました。

ゲスト：加藤さん（えちぜん鉄道運転士）・太田さん（大野東高校機械科1年）

大矢さん（ペンネーム わだらんさん 野洲市在住 鉄道メールマガジン発行者）

ROBA：内田・清水・林博・林照・寺内・三寺・塚谷・鳥居

出席者全員が自己紹介をした後、内田会長からROBAの活動内容の概略とえち鉄三国芦原線のLRT化に向けた最近の動向について説明され、その後、出席者が意見を述べる形のフリーディスカッション形式で進められた。主として話題となったのは下記の点であった。

- ・LRT化に伴う設備投資について  
（国からの補助が得られても税金である点は変わらない）
- ・路面区間増発に伴う大名町交差点の渋滞について
- ・三国芦原線のスピードアップの可能性について  
（軌道強化、ポイント改修、行き違い設備の増設、1500Vへの昇圧）
- ・電車優先信号導入の有効性について  
（乗用車の右折規制）
- ・編成の一部のみ低床で乗車定員の多い車両導入について  
（低床車は立っていると衝撃が大きい）
- ・運転頻度やスピードが劣っていなくても不便な電車は廃止される  
（名鉄揖斐線）
- ・京阪京津線、石山坂本線は低床車ではないがLRTとして機能している
- ・新幹線高架へのえちぜん鉄道乗り入れは単線化に備え、運行本数を抑える  
（新幹線工事中のえちぜん鉄道の部分運休回避策）
- ・LRV導入に伴う運転士の養成について  
（路面区間では動力車乙種免許が必要）
- ・第一ステップとして福井鉄道の新田塚までの片乗り入れの実現性
- ・新型車両導入よりも優先してやるべきことについて  
（ホーム屋根の延長、スロープの整備、無人駅への券売機設置）
- ・県立病院方面へのLRT延伸について
- ・バスとの乗り継ぎネットワーク強化について

個人的な感想としては、鉄道車両や設備に関する専門的な話題が多かったものの、ゲスト3名それぞれ違う立場から貴重なご意見をいただき、大変有意義な場になったと思う。

将来的には、えちぜん鉄道と福井鉄道の経営統合（運賃制度の統一）が実現し、さらに連絡バスの充実でJR北陸本線（武生～芦原温泉間）との連携も強化されれば、マイカーに頼らず移動できる範囲が広がって便利になるのではと期待している。



## 第4回全国バスマップサミット仙台 参加報告 070303,04 はやしや

今回は、仙台のまちづくり政策フォーラム交通を考える研究会が主催し、環境省 E S T 事業の「公共交通利用促進フォーラム」との同時開催でした。両方に参加すれば、というより巧妙な時間配分により両方に参加できるようになっており、マップもさることながら、公共交通利用促進を考える内容となっています。（E S T：環境的に持続可能な交通）

会場は仙台市中心街の「市民活動サポートセンター」、夜は10時まで開いていました。「気まま旅仙台」

地下鉄南北線を基軸とした、B & R や P & R による公共交通体系の実状を見たくて、手始めに乗った観光周遊バス「るーぷる仙台」で偶然にも青葉城で一緒になった、高橋さんと、全国鉄道利用者会議の原田さんと3人で、地下鉄1日券を使って巡ってきました。

・泉中央駅：北の終点でバスターミナル、P & R 駐車場、ショッピングセンターも備えた拠点駅。

・旭ヶ丘駅：地下鉄駅改札口にはバス案内電光掲示盤があり、その真上に6バースの小さな待合室型バスターミナルを持った駅で、いろいろ参考になりました。

・北仙台駅：J R 北仙台駅の真下にある駅だが、乗継は全く無視されており、悪い見本としては最適？

・以上の乗り継ぎのシステムの良さもさることながら何といっても一番大事なのは、その基本軸となる7分間隔の高頻度の鉄軌道であることを実感しました。

「全国バスマップサミット」（次回はH19年秋：広島、菅井さんよろしく）

今回初の試みは「バスマップの通信簿」、主催者のバスの達人：岩本さん、子育て館長辛口オバちゃん：伊藤さん、デザイナー：荒木さん、によるバスマップの評価です。もっとも厳しい評価を下したのは、もちろん伊藤さん。あいにくのりのりマップは手違いで到着が遅れ、通信簿はもらえませんでした。それはそれは厳しい愛の鞭でした。力作の新潟のSさんは、泣いていました（笑）私も、こんな鞭なら受けたかった（おまえはMか？）

出し物では、やはり「エコ四人娘」のエコソングですね。何でも、タレント養成スクールの面々だそうで、飛び入り参加なので、主催者も知らなくて問い合わせ中だそうです。

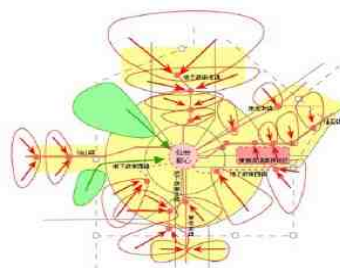
地下鉄、公共の乗り物で、スイスイとどこまでも、ガソリン駐車場代かからず安上がり……



サミット夜学の講演は、常連の鈴木文彦さんによる「交通インフォメーション」でした。「家を出てから帰るまで、一貫性のあるインフォメーションがいかにかできていないか、できればどれほど便利か」、これまでもROBAいわれてきた「つないで生きる」ですね。

E S T セミナーは、MMの東工大藤井聡先生。

「牛タン定食」：仙台といえば、忘れてならないのがこれ！分厚いやつをおなかにゲットしてきました。



仙台市アクセス30分推進計画



旭ヶ丘駅の改札口のバス案内

## 『福井ふるさとCM大賞コンクール出品作品「電車大好き」努力賞受賞』

この作品が出来るまでですが、きっかけは2006年4月1日に、福井鉄道に低床車両が導入されたことで、便利に利用出来る事をより多くの方に知ってもらいたいと思いつけていました。今回、「電車大好き」が出来たのは、ROBAと僕の友達が代表を努め自主生活映画を制作上映しているDEGIKEN「デジタルアート総合研究所」(以後デジケン)との共同制作が実現したからです。

苦労話ですが、まず僕が、映像については無知で何もわからないので、映像に詳しいデジケンに僕が入会して映像について少しでも勉強することからでした。映像が出来るまでには、まずシナリオを作成して、絵コンテという映像の流れを絵で説明する作業から始めるのですが、これは大変難しくシナリオは出来たものの、何度か絵コンテを書いてデジケンメンバーに見せても、これじゃ撮影できないねと言われ続け時間だけが過ぎていくばかりで一度諦めたくらいでした。その時に助けてくれたのがデジケン代表である僕の友達でした。友達は、一度決めたらやり通すという強い思いのある持ち主です。僕の代わりに絵コンテを仕上げてくださいました。

事前に内田会長と二人で福井鉄道の武生新駅での撮影協力許可をもらいに行き、その後、武生新駅で撮影することが出来ました。撮影当日には高橋さん、塚谷さん、介助犬同伴で参加して下さった車椅子利用者、高校生など、多くの方々の参加協力で、無事撮影することが出来ました。撮影が終わってからは、デジケンで自主映画の編集をしてくれている方に編集をお願いして福井ふるさとCM大賞規定のCMを30秒にまとめてもらい仮の作品を一度デジケンメンバーに見てもらったところ、何か今一つ足りないと言われました。そこで、ROBA会員に見てもらいテロップのアイデアと僕がナレーションを付けて、「電車大好き」が生まれ、ROBAとデジケンの共同制作として、福井ふるさとCM大賞に出品して努力賞を頂きました。

最後にもし友達の存在がなかったら作品はなかったと思います。この作品は、多くの方々のご協力で制作されたものでこの場をおかりしまして心からお礼を言いたいと思います。どうもありがとうございました。そしてお疲れ様でした。なお、視聴は下記のアドレスへどうぞ。(水野)

<http://www.city.fukui.fukui.jp/eibun/cm/index.html>

### 「電車大好き」制作について      デジケン 吉田 茂

水野君から低床車両の電車をPRするCMが撮りたいと昨年9月に話があり、制作がスタートしました。実際に電車で水落駅から福井の駅前まで乗ってみたり、撮影の中心となった武生新駅を視察したり、そして何度も何度も打ち合わせを重ねていきました。撮影のための絵コンテを完成させていきました。

撮影の当日は、朝から雨が振ったりとあまりよくありませんでしたが、撮影が始まると晴れ間ものぞいて、撮影を後押ししてくれてる感じがしました。撮影は順調に進んでいきました。介助犬のカノンちゃんや丹南高校の生徒さんが参加して下さったりとたくさんの人や犬ちゃんが関わって下さりました。ありがとうございました。

また撮影に全面的にご協力して頂いた福井鉄道様、そしてROBAの会の皆様、ありがとうございました。いろいろな方のご協力があって、電車のCMが出来上がったと思います。福井ふるさとCM大賞では努力賞に入賞することが出来ました。ありがとうございました。

## 照ちゃんの気になる風景 part 2

平成18年10月1日 実施

六才橋			
停留所通過予定時刻表			
平日ダイヤ			
行先	福井駅前		
番号	31	31	27
経由	舟橋 幾久公園 明道校前 藤野所前 大名町	森田駅前 舟橋 幾久 町屋町 城町	福井大学前 西公園前 上高岡町 本町角 東映前
6		57	
7	17	47	
8	11	47	42
9	07	37	
10	07	37	
11	07	37	42
12	07	37	
13	07	37	42
14	07	37	



最近、徐々にえち鉄通勤から京福バス通勤に戻しています。

バスは丸岡線（幾久経由）を六才橋から松本小学校まで利用するのですが、だんだん利用しづらくなっています。

六才橋バス停 / 京福バス

昨年の10月に改悪され、幾久経由福井駅前行きは6時47

分 / 7時2分 / 7時47分 / 7時56分から6時57分 / 7時47分の2本となり7時47分に乗り遅れた場合はあとがありません。実際、乗り遅れた場合は、JR森田駅～福井駅～えち鉄福井～越前開発の裏ワザ(?)があるので安心なのですが……

沿線に高校がある限り、これ以上の本数減はないとは思いますが(甘いか?)もはや通勤に使えるバスの本数ではありません。

今日もバスを待つ私の目の前を、不思議そうな目で見ながら、一人乗車の自家用車が通過して行きます。(ぷんぷん!!)

作 / 漆崎 耕次

編集後記 …… 編集委員より一言

林(変集長)

「えち鉄 / 町屋団地北駅(福井口～西別院)があったら私は便利なのですが……」

塚谷(副編集長)

「暖冬になれたところの雪は、カンフル剤?」

内田(発行責任者)

「2月より、3月が寒いんじゃないの!」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)

URL: <http://roba.cocolog.nifty.com/roba/home/>